

# 1年生学年だよ

平成 28 (2016)年 10月27日

第 32 号

吹田市立第二中学校第一学年

## これからのこと。

10/26 (水) の道徳の時間に、「情報モラル」についてのお話を聞きました。「デジタルタトゥー」と「Rethink (リシンク)」という2つのキーワードを中心に、みんなにとっての身近な LINE や Twitter などのお話もありましたね。授業を聞いて、みんなはどんなことを考えていたのでしょうか？



### Q なぜ「Rethink (リシンク)」が大切なのでしょう？

- もう1度考え直すことで、相手を傷つけずにすむ場合があるから。
- 自分は軽い気持ちで言っているつもりだけど、人にとっては悪い気持ちで言われているように感じて、傷ついてしまうことがあるから。
- 人が傷つくことなどを阻止する役割を持っているから。
- 言葉だけでなく行動も Rethink した方がいいと思った。やった行動によっては、その人がとても傷つきしんどくなってしまうからです。
- イライラして思ったことをそのまま言ってしまうと、相手を傷つけてしまうかもしれないから。深呼吸をすることで心を落ち着かせて、やっぴいことと悪いことを判断するため。
- Rethink をしなかったら、たったの一言だとしても相手を傷つけてしまうから。Rethink をすると、相手はどう思うかを考えて、相手を傷つけないようにできるから。
- 相手の人が傷つく言葉かもしれないし、言った本人も傷ついてしまうから。
- 自分の心は、自分でしか落ち着かせられないので、相手の気持ちを考えて、デジタルタトゥーがないように Rethink !
- リアルでもネットでも、この言葉は言ったりのせたりしても誰も傷つかないか、もう一度考えることが大切だから。
- 言われて傷つく言葉を言わないようにするため。
- 1度書き込んだ内容は消したくても消せない状態になるから。

### Q 授業を聞いて思ったこと、感じたことを自由に書きましょう。

- 相手がどう感じるかを考えるのは、リアルでもインターネットでも一緒だと思った。だからこそ、Rethink が大切なんだと思った。
- 自分は簡単に言葉を使ってたけど、意外と傷ついていると思った。
- すごく便利だと思うけど、ちょっと便利すぎて大変なことになるのがすごいわかった。これからはしっかりと言う前に Rethink を思い出して、よい学年になれるように気をつけようと思った。
- はじめて「デジタルタトゥー」も「Rethink」も聞いて、この言葉はすべての人に知ってもらわないといけないと思った。
- 携帯はとっても便利だと思うけどネットでの書き込みでいやなことになってしまうかもしれないから少し怖い。けど、これからもっと必要になるから、Rethink をしながら使っていきたい。
- 情報機器は人にとってプラスになることが多いけど、使い方を間違えるとマイナスになってしまうということがあらためてわかった。
- 便利で役に立つけれど、でも便利なものは決して便利だけではなくて、時に人を傷つける凶器にもなる恐ろしいものだから、ほんとに Rethink が必要なんだなあと思います。スマホなどの機械は、うまく接していかななくてはいけないなあと思いました。
- Rethink で大事なことは、今自分が話している人の立場に立って、どんなことを言ったら傷つくかなあとしっかり考えて、相手を傷つけないようにすることだと思います。
- 私は、最近ケータイを買ってもらったばかりで、まだインターネットが怖いものなのか良いものなのかよく分かっていない。だけど、今回この話を聞いて、インターネットは自分が良く使えば、悪いことにはならないんだと思った。
- いつの間にか自分が傷つけていることをあらためて知り、Rethink を心がけながら毎日過ごしていきたいと思いました。
- 友達としゃべる言葉に気をつけたいと思います。

みんな、しっかりと考えてくれていました。

裏面へ続く...

# 情報機器への意識の変化

道徳の授業を受ける前後で行った、アンケートの結果です。



## アンケート調査から

今回のアンケートでは、携帯電話・スマートフォンなどの便利さ、怖さについてどのように考えているのかを調べました。

便利さについてですが、ほとんどの人が「便利」、もしくは「とても便利」という考えを持っています。授業中にも青木先生が言っていましたが、**情報機器が便利であることには間違いありません。**好きなところから、好きなときに、好きな人へ連絡が取れる。調べたいことがあったときにすぐに調べることが出来る。書き出したらキリがないくらい便利なものです。

その反面、使い方を間違えると本当に危険なものです。しかし、情報機器の怖さについての事前アンケートでは、「怖くない」という考えを持っている人の方が「怖い」と考えている人よりも多かったです。授業後には「怖い」と感じる人が大きく増えていました。授業をしっかりと受け止め、多くの人何かを感じて考えてくれた証拠だと思っています。感じたことをそのままにせず、ぜひ行動に移してほしいと思います。

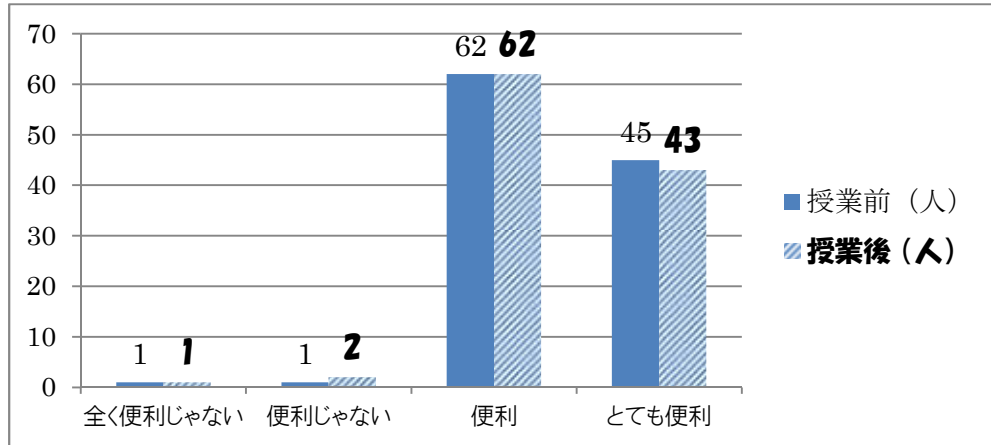
2つのキーワード、「デジタルタトゥー」「Rethink (リシンク)」を中心に授業は進んでいきました。その中で何回もくりかえし言われていたのは、「Rethink」の重要性でしたね。「もう1度考える、考え直す」ことで、傷つく人が少しでも減るはず。嫌な思いをする人が1人でも減るはず。

そしてこれは何もネットの中だけの話ではありません。ろうかですら友達と話をするとき、帰り道に友達と一緒に帰っているとき、食堂でごはんを食べているとき、クラブ活動を頑張っているとき、どんな場面においても、この「Rethink」は必要です。

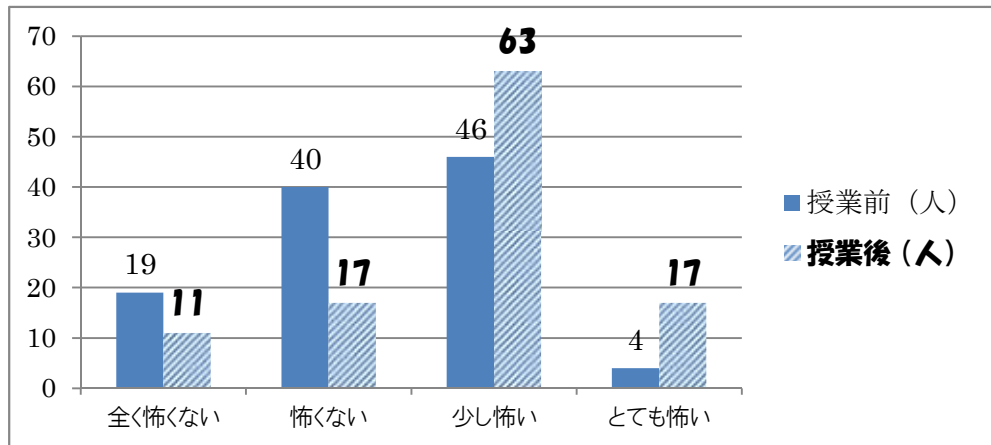
誰かが意識をするのではなく、学年全員が意識をしてください。自分の言う言葉、取る行動、すべてに「Rethink」をしてください。その少しの余裕が、ステキな人間関係を作るきっかけになります。ステキな学年を作る力になります。

72期生、124名で最高の学年を作ってください。

## Q. 携帯電話・スマートフォンの便利さについて



## Q. 携帯電話・スマートフォンの怖さについて



授業の前後で上のグラフのような意識の変化が見られました。

間違いなく情報化社会を生きていくみなさん。

大事なのはこれからどうするかです。

あなたはどのように向き合っていきますか？

# 1年生学年だよ

平成 28 (2016)年 10月 27日

第 33号

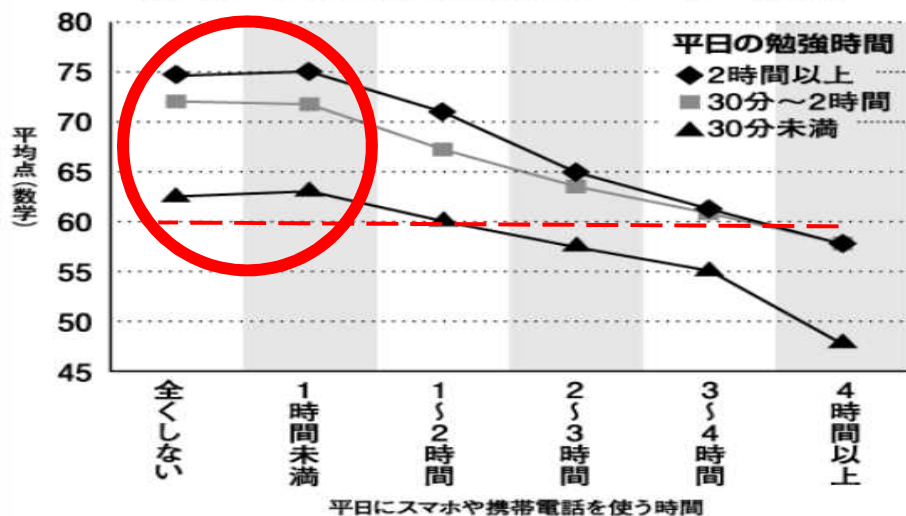
吹田市立第二中学校第一学年

## ～保護者の皆様～

日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、10月21日(金)のPTA学年懇親会にはお忙しい中、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

さて、先日の懇親会の中で「携帯電話、スマートフォン」のことでお困りのご家庭が多いということがわかりました。本日発行の学年だよ第32号を読みながら、以下の内容にも目を通していただければと思います。1つの参考ですが、この機会にぜひお子さまと話し合う時間を作っていただき、どのように情報機器を活用していくのかをあらためて見つめ直すきっかけにいただければ幸いです。

## スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



上のデータは仙台市の市立中学校で実施された調査結果です。ケータイ、スマホを使う時間が長くなれば長くなるほど、平均点が下がっています。しかし、それ以外に次のようなことも読み解くことができます。

- ① 「1時間未満」と時間を限定している子どもの平均点は全く使わない子どもと一緒、またはそれ以上の平均点となっていること。
- ② 家でちゃんと勉強している生徒でも、スマホを使う時間が長ければ、家で勉強しない生徒よりも学力が下がっているということ。

しっかりと「時間を決めて」使うことが大切だということがわかります。

また、各ご家庭でのスマホを使う際の「ルール」についてのお話もできました。以下の①の内容はアメリカで有名になった「スマホを使うための『18の約束』」から一部抜粋したものです。②はアプリにてスマホ利用時間を制限する方法です。またこれ以外にも各ご家庭で「〇〇時間以上勉強してから渡す」などルールを作っているご家庭もあるようです。ご参考にいただければと思います。

### ① スマホを使う為の「18の約束」(一部抜粋)

- これは私のスマホです。私が買って、あなたに貸してあげています。
- パスワードは常に私に報告してください。
- 学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00にママかパパにスマホを渡しなさい。次の朝7:30までシャットダウンしておきます。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSMSもしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
- スマホを学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。
- このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしてはいけません。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
- 問題があるようなら、スマホを没収します。そして一緒にそのことについて話し合います。またやり直しましょう。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

《参考資料》

<http://androk.jp/news/topics/hahakaramusukohe-sumahowotsukautameno18noyakusoku/>

裏面へ続く...

## ② アプリにてスマホ利用時間を制限

### ○「ディナータイム (Dinner Time)」

親のスマホから遠隔操作で子どものスマホをロックすることができるアプリ。

このアプリは、LINE 疲れから子どもを守るだけでなく、食事時などの家族のだんらん、就寝時間や勉強時間を確保するといった目的に利用できますが、子どもの権利を侵害してしまわないよう、充分に気をつけて利用してください。



### ○ UBhind モバイル・ライフ・パタン

時間を設定すれば一日のスマホ利用時間を制限できる。一ヶ月間ほどのぐらい使ったかが分かり、自己管理ができるタイプです。



### ○「まもるゾウ」

通話時間の制限、電話をする人の制限、電話の着信を受ける制限、アプリの制限ができるアプリです。

親子でスマホを併用して一緒に使う場合などに使用されています。



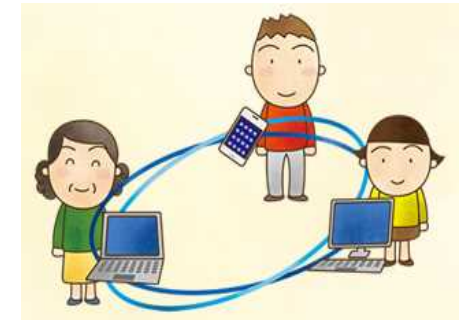
### ○「タイマーロックアプリ」

設定した時間帯の間はすべてのアプリが起動できなくなります。夜になっても寝る前になってもスマホから離れないお子さんにはこのアプリが有効のようです。



※ 今回紹介させていただいたアプリは一例です。学校からは情報提供のみしか行えませんので、実際にご利用をされる場合にはご家庭で十分に検討していただきますようお願いいたします。

現代はいわゆる「**情報化社会**」と言われる、たくさんの情報が飛び交う社会です。お子さまが社会人として活躍していく頃には、より高度な情報化社会となっていることでしょう。仕事をするにもプライベートを満喫するにも、スマートフォンやパソコンなどでインターネットを駆使することが求められ、生活の一部に情報機器が欠かせないものとして入ってくるでしょう。



この情報化社会を生きていく彼らに一番必要なことは、**子どもたち自らが情報機器を適切に使い、管理できる力を身につけること**だと思います。**自分で考え、自分で情報を選択し、自分の力で生きていく力**です。

その第一歩として、今、与えられた情報機器を正しく使う力を身につけていくべきだと思います。その手段としてルールというものがあるのではないのでしょうか。ルールを決める際には、一方的なものにならないよう、お子さまとじっくり話し合っていたいただき、お互いに納得できるものと考えていただければと思います。それが意味のある約束を設定し、それを守っていこうとする姿勢にもつながるのではないのでしょうか。

10/26 (水) の道徳で生徒にキーワードとして紹介した2つの言葉を紹介します。

#### ① **デジタルタトゥー**

「ネットなどに書き込んだ内容が、他人によって写真に撮られたりスクリーンショットで画像として保存されてしまうなどにより、自分では消去などをすることができない状態になってしまうこと」

#### ② **Rethink (リシンク)**

「もう一度考えること、考え直すこと。何かを発言する時、行動をとるときなどに、一呼吸おくことで本当にそれでよいかと考え直すこと」